

第81回

作品公募

# 日本画院展

2022 5.29(日)~6.4(土)

9:30~17:30 休館日なし

(入場17:00まで、最終日入場13:30まで 14:00閉場)

東京都美術館

LB階 第1・2展示室

—新しい日本画の創造—

**20号**から出品、**200号**までチャレンジ!

—20号~30号の入選作品は部門独立展示—

ロサンゼルス滞在研修 (ロバート・クラウダー賞)

搬入: 2022年5月15日(日) 10:00~15:00

東京都美術館 地下3階「日本画院展」受付

一般社団法人 日本画院

〒110-0004 東京都台東区下谷2-21-8 河野ビル2F  
TEL: 03-6458-1219 E-mail: nihonga-in@silk.ocn.ne.jp  
<http://nihonga-in.or.jp/>

日本画院



# 2022年 第81回日本画院展 作品公募規定

◎ 会 期 2022年5月29日(日)～6月4日(土) 9時30分～17時30分 入場は17時まで  
休館日なし 最終日：入場は13時30分まで・14時閉場

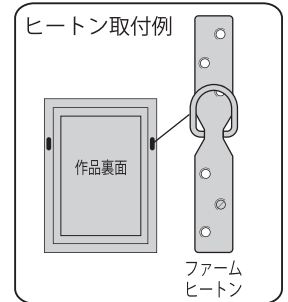
◎ 会 場 東京都美術館 ロビー階 第1・2展示室  
〒110-0007 東京都台東区上野公園8-36 ホームページ <https://www.tobikan.jp>

◎ 作品搬入 2022年5月15日(日) 10時～15時 (期日・時間厳守)

◎ 搬入場所 東京都美術館 地下3階作業室「日本画院展」受付 TEL：03-3823-6921  
(東京都美術館代表電話につながりますので、お問合せの際は「日本画院宛」をお願いします)  
(作品の搬入は、必ず美術館裏側の搬入口よりおこなってください)

◎ 作品規定 未発表の日本画作品に限ります。出品点数は、2点までとします。  
大きさは20号(S・F・P・M)以上、200号(S・F・P・M)以下。  
屏風は枠を含めて幅360cm以内。20号～30号の入選作品は部門独立展示します。

◎ 額 装 作品保護のため、必ず額縁をとりつけてください。  
額の大きさは自由ですが、ガラス板、アクリル板の使用は不可とします。  
額、屏風いずれも、展示用の金具(ヒートン等)を必ず取り付け、展示できる状態で搬入してください。



◎ 出品料 1点 15,360円／2点目 5,000円 30歳未満の方は、1点 3,360円／2点目 3,000円  
(払込手数料込み。入選者にはカラー図録を入選1点につき1冊お渡しします)  
出品票と共にお送りする専用の払込票にてお支払いください。  
尚、一旦納入された出品料は、返却できませんのであらかじめご了承ください。

◎ 出品票(出品申込書)・出品料払込票 入手方法

次のいずれかの方法で、ヤマト運輸株式会社 東京美術品支店「第81回日本画院展」宛にお申し込みください。

①ハガキまたはFAXから

本紙右上のハガキに、必要事項をご記入の上、4月20日(水)までにポストに投函、  
FAXの方は、4月25日(月)までにFAX番号 03-6858-7600 まで送信してください。

②インターネットから

日本画院ホームページ(URL: <http://nihonga-in.or.jp/>)から入り、2月15日(火)から4月25日(月)までに  
ヤマト運輸株式会社 日本画院展専用応募申込みフォームからお申し込みください。

- ・前回までの日本画院展にお申し込みがあり、ID・パスワードをお持ちの方は、ログイン画面からID・パスワードを入力してログインの後「応募登録」に進んで、必要事項を入力してください。
- ・日本画院展に初めてご出品される人は、ログイン画面の「初めての方はこちらから」をクリックして、出品者登録の後、「応募登録」に進んで、必要事項を入力してください。

◎ 地方より送付される作品

出品作品は、出品票(出品申込書)と共に依頼される取扱業者へ、4月26日(火)～28日(木)の期間にお渡しください。送付作品の梱包箱には「日本画院展作品」と必ず表書きしてください。

※出品料と別に取扱業者への搬入出代行手数料がかかります。詳細は各業者までお問合せください。

◎推薦取扱業者

ヤマト運輸株式会社 東京美術品支店(営業時間：平日9時～17時)

〒135-0062 東京都江東区東雲2-2-3 東雲ビル2階 TEL：03-3527-6683 FAX：03-6858-7600

◎ 作品搬出 2022年6月5日(日) 10時～15時 (期日・時間厳守)

◎ 搬出場所 東京都美術館 地下3階作業室「日本画院展」受付 TEL：03-3823-6921  
(東京都美術館代表電話につながりますので、お問合せの際は「日本画院宛」をお願いします)

※搬出には必ず、作品預かり証を、受付で提出してください。

※上記規定の日時に搬出されなかった場合、本法人および指定業者はその責任を負いません。

また、期日内での引取りがなかった場合は、指定業者に保管および返送を依頼しますが、  
保管料・返送料は、出品者の負担となります。



# 81st Exhibition of Nihonga-In

第80回記念日本画院展は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2020年は開催を翌年に延期、さらに翌2021年は、作品の審査そして受賞作品の決定までいたりしましたが、開催直前の休館延長により、展示の中止を余儀なくされました。

私達日本画院は、先達が戦争の悪化と敗戦のときに経験された二年間の空白、そのとき以来初めてとなる、公募展の展示がかなわないという、二年間の体験をせざるを得ませんでした。

2022年の第81回展を、私達は気持ちを新たに迎えます。開催出来ますことは、例年にも増して大きな喜びです。全国の皆様の作品応募をお待ちしております。

1938年(昭和13年)の創立以来80年余、日本画の公募団体として今日まで活動を続けてまいりました。

私たちは創立時の自由で清新な気風を継承し、現代感覚にあふれた新しい日本画の創造を目指すと同時に、国際的な視野を持った人材を育成することにも取り組んでまいりました。

その一つが、ロサンゼルス在住の棚野泰全氏(日本画院顧問)の協力により創設された、同地での研修を副賞としたロバート・クラウダー賞です。第73回展以来すでに、8名の受賞者を輩出しています。研修された方々は、様々な美術や文化にふれることにより、日本画への創作意欲を高めてきております。これらの取り組みにより、新しい視点や価値観による日本画の創造に繋がり、次の世代への架け橋となっていくことが、私たちの願いです。

私たちは引き続き、明日へのエネルギーに満ちた創作活動を続けていきたいと考えております。

なにとぞご高覧ご批評を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## —第80回記念日本画院展 受賞作品—

### ■ 日本画院賞



「mother III」早川美里

### ■ 80回記念展大賞



「博物館の少女I」手塚俊尚

### ■ 望月春江賞



「煌煌」近本祐紀子

### ■ 望月春江賞



「生」西田恵梨子

### ■ 会員賞



「遠音」岩崎英子

### ■ ロバート・クラウダー賞



「炎炎涼涼」星野 綾花

### ■ 会員賞



「熱情」石渡雅江

### ■ 会員賞



「森林炎上(温暖化阻止)」  
高田俊一

## ■ 日本画院のあゆみ

1938年(昭和13年)

4月12日 東京において協議会が開かれ結成。

1939年(昭和14年)

4月22日～5月7日 東京府美術館において第1回展開催。

主旨(抜粋)

今日、日本画壇を見るに、全般の日本画人にとって公共の作品発表機関となし得るものは稀である。

日本画院はここに作品を公募して作品発表機関を提供し、新たな時代を負うべき鋭意の作家を迎えて、共に研鑽しその発達奨励に寄与せんことを期するものである。

《創立同人》岩田正巳 服部有恒 畠山錦成 西沢笛畝  
川崎小虎 吉岡堅二 吉田秋光 高木保之助 吉村忠夫  
常岡文亀 根上富治 永田春水 野田九浦 矢沢弦月  
松本姿水 福田豊四郎 小泉勝爾 穴山勝堂 飛田周山  
望月春江 森 白甫

1945年(昭和20年)

戦争の悪化と敗戦。

激変する社会状況の中で、展覧会の開催は2年間見送られる。

1947年(昭和22年)

東京都美術館において第7回展を開催。以後毎年開催。

2009年(平成21年)

公益法人法に則り一般社団法人として出発。

2010年(平成22年)

上野の森美術館において第70回記念日本画院展を開催。

2012年(平成24年)

新装なった東京都美術館において第72回日本画院展を開催。

2013年(平成25年)

第73回日本画院展を開催。ロバート・クラウダー賞創設。

2015年(平成27年)

第75回記念日本画院展を開催。

2020年(令和2年)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため第80回記念展を1年延期。

2021年(令和3年)

第80回記念日本画院展は、東京都美術館が休館延長となり展示中止。